

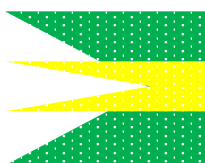
個人用パソコン 長期休業期間 持ち帰りの手引き

(中学校用)

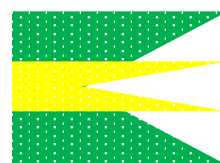
令和3年7月 宇都宮市教育委員会



- ★ この手引きには、みなさんが、家でパソコンを使って学習するときにがんばってほしいことや、必ず守ってほしいことが書いてありますので、よく読みましょう。
- ★ 夏休みや冬休みなど、長い間学校が休みになる期間は、いつも学校で使っているパソコンの使い方に慣れるためのよい機会です。いろいろな学習に自分から進んで取り組み、授業の中で活用できるようにしましょう。

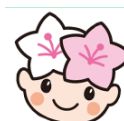


休み中に家でがんばって
ほしいこと



- ☆ 個人用パソコンを使って、ドリルや自由研究などの学習に、自分から進んで取り組みましょう。
- ☆ キーボードで文字をできるだけ速く打てるように、練習しましょう。
- ☆ パソコンで自分ができるようになったことや、普段学校で学習していることを、家の人に紹介してみましょう。

学校から持ち帰ったパソコンが故障したり、万が一なくなったりしたときは、すぐに担任の先生に連絡しましょう。



学校の電話番号 028 - (634) - (9177)

休み中の家庭での使用で守ってほしいこと

① 持ち帰りについて

長い休みの前には、個人用パソコンなど、ふだん学校においてある学習用具を、家に持ち帰ります。たくさんの荷物を持つての自転車の運転や歩行は危険です。計画的に何回かに分けて持ち帰りましょう。

② 学習への活用について

- ・ 興味や関心があることをインターネットで調べたり、身近なものを写真にとったりして、自由研究などに積極的に取り組みましょう。
- ・ A Iドリルを使って、授業で学習したことが身についているかを十分に確認しましょう。

③ 健康について

- ・ 目を画面から30cm以上離して使うようにしましょう。
- ・ 1時間使ったら、10分休むようにしましょう。
- ・ 必要以上に長い時間使わないようにしましょう。
- ・ 寝る1時間前からは使わないようにしましょう。

(夜の10時30分から朝の6時30分までは、インターネットに接続できないように設定されています。)

④ 保管について

- ・ 安全な、決められた場所で保管しましょう。
(学校から持ち帰った充電アダプターも、一緒に保管します。)
- ・ 上に物をのせたり、間に物をはさんだりしないようにしましょう。
- ・ 飲み物や食べ物を近くに置かないようにしましょう。



⑤ その他

- ・ 学習のために使うようにしましょう。
- ・ 友達との連絡に、パソコンを使わないようにしましょう。
(誰が、どれくらい、どのようにパソコンを使ったのか、すべて記録が残るようになっていきます。)

A I 型個別学習ドリル ～家庭での活用について～

「AI 型個別学習ドリル」 とは

- 「A I 型個別学習ドリル」とは、一人一人の理解度に応じた問題が自動で出題・採点されるデジタルドリルソフトです。
- それぞれのペースで、問題を解き進めることができます。もし間違った場合でも、その原因をA Iが分析して、次の問題を出題してくれます。
- 漢字や数学の作図やグラフなど、手書きの解答も自動で認識されます。
- 国語・社会・数学・理科・英語で合計約 48, 0 0 0 問の問題があります。
※クラウド製品のため、Wi-Fi 環境やインターネット環境が整っていれば、個人用パソコンや家庭のパソコンから使用することが可能です。

家庭でのログイン方法について

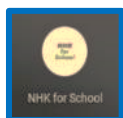
- ★ 中学生の皆さんが、A I 型個別学習ドリルにログインするときのI Dやパスワードは、個人用パソコンと同じです。ブラウザのブックマークに登録してあれば、クリックすればすぐに使い始めることができます。



A I 型個別学習ドリル以外に オンラインで利用できるツール

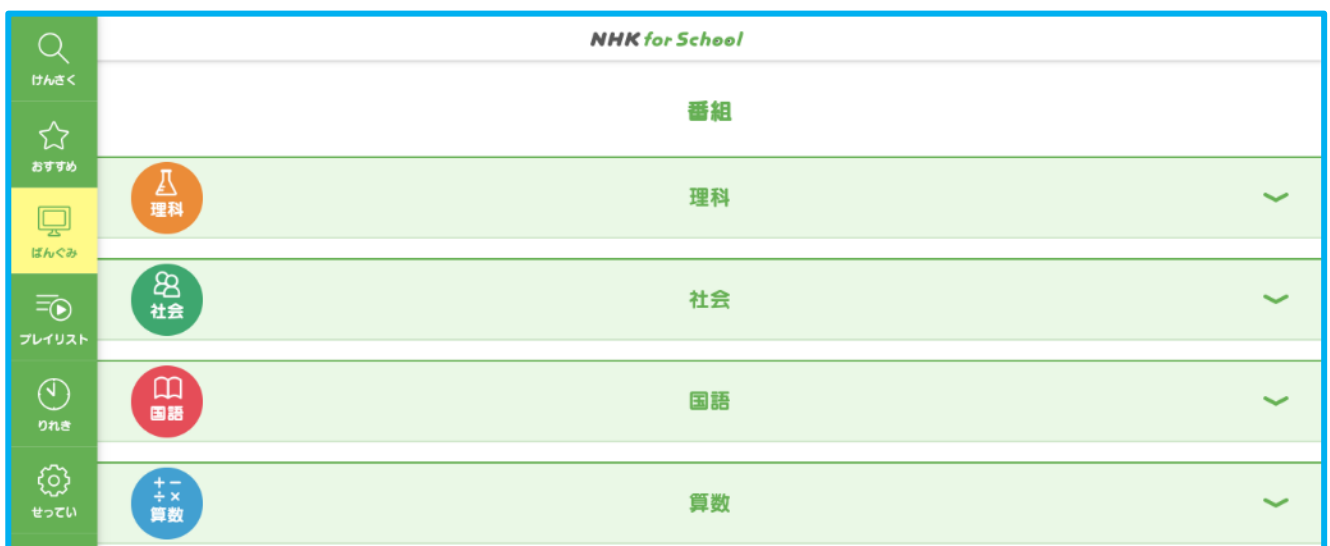
eboard（イーボード） <https://info.eboard.jp/>

eboard には、約 2,500 本の映像授業（動画）があります。苦手なところや授業で分からなかったところを、動画を見て確認することができます。授業の復習だけでなく、家庭学習においても予習をすることが可能です。



NHK for School <https://www.nhk.or.jp/school/>

学年や教科ごとにさまざまな動画資料があります。キーワードを入力すれば、自分が見たい動画資料をすぐに探し出すことができます。このコンテンツも授業だけでなく、家庭学習で利用することができます。





保護者の皆様へのお願い

今後、お子様が個人用パソコンを持ち帰り、家庭学習に使用する機会が多くなります。

お子様がご家庭においても、個人用パソコンを安全に使用することができるよう、ご協力くださいますようお願いいたします。

○ 個人用パソコンの利用時間等のルールについて

ご家庭で過ごす時間全体の中で、ご家庭にあるデジタル機器も含めて個人用パソコンを、いつどのように使うか、お子様と話し合うことが大切です。

デジタル機器を使う時間があまりに長くなると、人と人とのリアルな関わり合いや、自分の感覚や行為を通して理解する学習、地域社会での体験活動などの時間も、少なくなってしまうです。

成長期のお子様のバランスの良い発達の観点からも、(使い方にもよるため、一概に何時間までなら OK ということはいえませんが)、お子様がさまざまな経験や活動ができるよう、家庭でもデジタル機器全般の使い方について、この機会にお考えください。

○ 個人用パソコンの安全な活用について

お子様のインターネット使用時には、インターネット上の犯罪等の被害者や加害者にならないようにするなど、適切な指導が必要です。

日常の学校での個人用パソコン使用にあたりましては、「お互いを思いやり、責任をもって使うこと」の大切さについて指導しておりますが、ご家庭でも保護者の立場からぜひご指導ください。

※お子様が学校で使用している個人用パソコンには、学習に関係のないサイトなどにアクセスすることができないよう、フィルタリングが設定されています。